

2023年8月24日
南海電気鉄道株式会社

「泉ヶ丘駅前活性化計画」の新築建設工事延期および事業計画見直しについて

南海電気鉄道株式会社（社長 岡嶋信行、以下「南海電鉄」）は、2022年3月に「泉ヶ丘駅前活性化計画」の始動を発表し、既存建物の一部解体工事を順次進めてまいりましたが、昨今の世界情勢や急激な物価上昇に伴う工事費高騰の影響を受け、建築工事費が想定を大幅に上回る見込みとなったため、当初計画通りでの事業遂行は著しく困難な状況となりました。

しかし、当社にとって泉北ニュータウンが重要なエリアであることに変わりはなく、このような困難な情勢に対応しながらも、魅力的で賑わいのあるまちづくり実現に向けて、現計画での新規建設工事の着手は一旦延期とし、事業計画の見直しを行うことといたしました。

なお、今後の事業計画の見直し、および新規建設工事着手の時期につきましては、決定次第お知らせいたします。また、工事再開に至るまで、工事エリアの一部を通路として確保するなど、可能な限り通行の利便性を損なわないよう留意してまいります。

【参考】泉ヶ丘駅前活性化計画（2022年3月7日のニュースリリース）

<https://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/220307.pdf>

南海電鉄では、2014年7月に大阪府都市開発株式会社（現 泉北高速鉄道株式会社）の株式取得以来、泉北ニュータウンを最も重要な拠点のひとつと位置づけ、乗り継ぎ運賃の値下げや、泉ヶ丘駅へ「エキ・タカ 泉ヶ丘」（高島屋）を誘致するなど沿線各駅で便利な商業店舗の充実を図るとともに、泉ヶ丘駅前商業施設のリニューアルや耐震補強工事を実施するなど9年間にわたり、南海グループ総力を挙げて様々な施策を通じて泉北エリアの価値向上に取り組んでまいりました。また、中期経営計画「共創140計画」において、「選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大」を事業戦略として掲げ、官学民連携のエリアマネジメント活動や SENBOKU スマートシティ コンソーシアムにおける各事業を通じて、泉北ニュータウンのサステナブルなまちづくりに参画し、今後も泉北エリアの価値向上に取り組んでいきたいと考えております。

以上